

2017・18年度
国際ロータリー第2790地区

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

月刊

10

2017年
OCTOBER
VOL. 4

岸良 紅葉鸚鵡図

経済と地域社会の発展
／米山月間



ロータリー：
変化をもたらす



COPY FOR MEMBERS

地区行動指針 理念と実践 ～Think Next～



国際ロータリー第2790地区 寺嶋 哲生 (柏RC)
2017-18年度ガバナー

ガバナーを拝命するに当たり、三大セミナーに向けて編纂いたしました冊子に、「2017-18年度地区運営方針」なる拙文を記しました。その文中、私は、地区運営に関する基本的な考え方として、①理念と実践、②事業と運営、③継続と革新の三つの観点からの考察を試みました。今月は、その内から、理念と実践についての私見を申し上げます。

かの決議23-34が採択される前夜は、職業倫理を重視し団体としての奉仕活動に対しては隠匿の美を是とする理念派と、金銭的奉仕や身体的奉仕といった具体的かつ実践的奉仕活動を是とする実践派が、その対立を深めていたと聞き及びます。ポール・ハリスによるロータリークラブの設立が1905年でありますので、設立から僅か18年目の出来事です。加えて、メルビン・ジョーンズによるライオンズクラブの設立が1917年でありますから、ロータリーは創立後の間もない頃から、この二つのスタンスの間に介在するジレンマと対峙していたのだと言えましょう。

只今のRIは、世界有数のボランティア団体を目指し、DLPやCLPの導入を推奨しております。しかしその方向性に対しては、ロータリーの根幹を成すべき職業倫理を軽んじているとの批判を間々耳に致します。他方、実践派からは、理念にのみ拘泥されるスタンスは、もはや世界の潮流に逆行し、頑なな姿勢はロータリーの衰退に繋がるとの批判もあ

るようです。

2016年に行われた規定審議会による改変も、批判の対象として意識されております。2002-03年度RI会長であったビチャイ・ラタクル氏は、2016年4月に2830地区で行われた記念講演において、会員資格や出席に関する改変を例示した上で、「ロータリーは今や存続か否かの岐路にある」とまで言及し、危機感をあらわにしております（Back to Basics, 山崎淳一監修、2016年4月23日発行、参照）。しかし一方では、2016-17年RI会長であったジョン・ジャーム氏は、規定審議会による改変は、クラブの運営方法に柔軟性を認めたものであり、ロータリーの目的（綱領）や中核的価値観は一切変わっておらず、ロータリーの本質には全くの変質はないと述べております（2016年12月名古屋での情報研究会講演）。

これら、見解やスタンスの相違をどう咀嚼し、どう解釈したら良いのか。結論から申すなら、私はこの事自体が、ロータリーの健全さを端的に示す証左であると考えます。いずれのスタンスも、共にロータリーに対する真摯の結果であり、健全な自己批判の表出である。更に私見を加えるなら、この二者は決して拮抗でなく共存できる。理念を掲げ、実践を示すことは、ロータリーを有意義ならしめる事こそあれ、名誉を損なうものではない。理念は実践を否定せず、実践は理念を否定しない。私は、そのように考えます。



クラブ研修リーダー・委員長セミナーの開催報告

ロータリー研修委員会

副委員長 海寶 勘一 (千葉西RC)

「ロータリアンであることを誇りにしよう」をテーマとして、新年度早々の7月23日(土)に研究・研修統括委員会主催のクラブ研修リーダー・委員長セミナーが千葉市内三井ガーデンホテルに於いて開催されました。地区内各ロータリークラブから研修に関係するリーダーや委員長が77RCから94名も登録くださり、当日参加もあり、準備した会場が窮屈に感じるほど熱気を帯びていました。寺嶋哲生ガバナー年度スタート早々の事業ですが、クラブでの重きお役目と、ロータリー研修に誇りと情熱を持った方々の前向きな姿勢を、真摯に受けとめることができました。また、本セミナーは9月からスタートする各分区でガバナー補佐が主宰される「ロータリー情報研修会」でのテーブルリーダーを担って頂く意味合いもありました。予定通りの7月開催が出来ましたが、委員会としての責務は果たせたのか反省も多くあります。プログラムをどの様に組み込めば、最も効果的なセミナーになるのか、地区委員会に属する各委員との打ち合わせも、徐々に熱気を帯びて責任の大きさを実感しつつ、あっという間に開催日を迎えました。会場には寺嶋ガバナーと橋岡エレクト、諸岡ノミニーが出席してく下さり、神野地区幹事長や野池次期幹事長も急遽ご参加下さり、セミナーに箔をつけて頂きました。

4月22日にあった地区研修協議会の分科会で、各クラブから集まって頂いた研修リーダーや委員長との情報交流があったのですが、その中で、地区活動とのコラボレーションの可能性をお伝えしてありました。寺嶋ガバナーからガバナー補佐への強い推奨もあって、11の分区でロータリー情報研修会を開催する運びになりました。各分区の会員の皆様とご一緒に、ロータリーの研修の大切さと、基本的な理念を系統立てて身に着けて頂けるか、委員会としての活躍の場が満載の行事になっています。真から誇れるロータリアンとして活動するためには、まずは興味をもって知り、学ぶことの大切さを認識して頂き、ロータリーの本質を学び、誇りにしてほしいと、その気付きの大切さを伝搬できればと願っていました。

クラブ研修リーダーや委員長を対象としたセミナーでしたが、全体テーマとして、「Let's be proud to be a ROTARIAN」(ロータリアンであることを誇りにしよう)を提示させて頂きました。参加された方々の評価は如何許りか興味津々であります。参加された方々との交流ですが、先ずは地区委員会から6名が前席に座って頂き、40分間パネルディスカッションを行いました。ここでのテーマも「ロータリアンとしての誇りを持ち合いましょう」と、クラブ研修リーダーや委員長が、日常クラブに於いてロータリーに矜持を持っているかの意見交流を行いました。コーディネーターの私は会場の参加者にも問いかけを行い、時間が足りないくらいの発言がなされました。二回に分かれたディスカッションですが、ロータリアンとして、またロータリー活動の本質を自由に意見交流されていまして、一回40分間が短かく感じるほど熱気を感じ、情報交流や意見交換ができました。最後の総評の中で関口徳雄統括委員長から「様々な会員がいてこそ様々な意見交流ができ、幅広い価値観が分かち合える。会員はもっと積極的にロータリーを学び、理解し、自己研鑽の中で、皆さんが矜持としてロータリアンを誇りに思っしてほしい。」と結んで頂きました。今こそロータリーとロータリアンの本質を理解する時である気がします。その為にもロータリー談義をより一層親しむことが肝心であり、襟を正したロータリアンであることを誇りにしていきたいものです。



クラブ研修リーダーセミナー

クラブ米山記念奨学委員長セミナー報告



クラブ米山記念奨学委員長セミナー報告

2017-18年度 地区米山記念奨学委員会
委員長 富 一美 (成田空港南RC)

8月26日(土)千葉商工会議所14階大ホールに於いて、2017-18年度クラブ米山記念奨学委員長セミナーを開催致しました。

クラブ米山委員長(代理)をはじめとする総勢100名を超えるご出席をいただき開催致しました。この度は、特別企画と致しまして、ホームカミング制度によりタイから1997年度米山学友のブサコーン・タンサガーサクツィーさん(タイパナソニック販売社長秘書)を招聘して基調講演をお願いした関係で、米山学友並びに現役奨学生も出席しました。ブサコーンさんがタイに戻ってからの実社会並びに米山学友会での活動の状況や、ロータリーの奉仕の心を活かして現在もチャレンジしているお話など、学友の立場から米山奨学事業の意義と成果を幅広く披露していただき、大変有意義なホームカミングと成りました。そして基調講演後に全員で行われたグループディスカッションでも活発な意見交換がなされ、ご参加いただいた

皆様方にとりましても実りあるものに成ったことと思います。

また、今年は慶事として、財団設立50周年という大きな節目の年を迎えるに至りました。セミナー当日と時を同じくして、熊本で財団設立50周年を祝しまして、世界米山学友による【感謝 in 熊本】と称する記念大会が開催され、この記念事業として新たに『世界米山学友会』が発足されました。

この『世界米山学友会』とは、世界中の米山学友が日本国内、そして、海外それぞれの学友会・学友の横のつながりの交流を一層強化し、国を超えた社会奉仕活動及び世界平和への貢献が効果的に行える輪としようとするものでございます。この様に、今や、将来的にもロータリーの奉仕によって羽ばたく米山奨学生の可能性は、計り知れないものがございます。今後とも、ロータリアンの皆様の更なる、ご協力・ご支援をお願い申し上げます。





クラブ米山記念奨学委員長セミナー・ホームカミング 「日本との絆」

米山学友 ブサコーン・ホンヨック・タンサガーサクツィー

この度はお招き頂きまして、誠にありがとうございます。私が初めて来日したのは1991年に交換留学生としてでした。その1年間は何もかもが新鮮に見え、高校での色々な活動を通し、日本人の良いところをたくさん見ることが出来ました。留学中は勉強よりもそれ以外のことを、周囲の方々から学ぶことが多かったように思います。学校の体育の時間・部活などを通して日本人の勤勉さ・努力家のところを学びました。特にホストファミリーとの絆・その貴重な経験を得て帰国しました。

タイに帰国した半年後にホストファミリーの親がタイまで来て、タイの高校を卒業したあと日本の大学に入らないかと勧めて下さいました。その善意で再来日し、日本の大学の受験勉強がスタートしました。ホストファミリーの父は、特訓で每晚日本語の勉強を教えてくださいました。努力の甲斐あって難関の入試を突破し、正式に島根大学の学部学生になりました。大学での勉強は日本語は基より、それぞれの授業内容も分からないといけませんので、厳しい勉強が続きました。4年間での大学生活の最後に卒業論文を提出しました。ちなみに論文のテーマは「男心と秋の空」についての諺です。

ロータリー米山奨学会との出会いは、大学3年生の時でしたが、書類選考でもれ、4年生にもう一度チャレンジして、面接を受けて、最終的に奨学金を頂けることになりました。世話クラブである出雲中央RCの温かい歓迎を頂きながら、この出会いのお蔭で社会人入門の勉強のような、小さな訓練を受けることができたように思います。Discipline という規則や時間を守る、社会人になる第一歩で責任という言葉の大切さを自覚することを学び、例会に出席すると服装、名刺の渡し方・置き方・挨拶の仕方など、大人の世界を垣間見ることができました。このような経験をする中で、自然と礼儀正しさなどを身につけることが出来たことは、ロータリーの繋がりから学んだ素晴らしい体験です。

卒業と同時に出雲中央RCの方のご紹介で、県の国際課と当時タイ国とのそろばん交流を進めていた横田

町（現在の奥出雲町）からご縁があって仕事を頂き、卒業してから3年間、島根県横田町役場へ国際交流員としてお手伝いに行きました。タイの子供の計算力・暗算力・集中力を高めるために、このプロジェクトは全国規模になり、私はそのテキストの翻訳やタイへ出かけるときの研修通訳などで、国際交流員として同行しました。

2001年にタイに帰国してから、パナソニックの販売会社の社長秘書として入社しました。会社の松下幸之助創業者のお考えを勉強すると、ロータリーの考え方によく似てるなと思ってたところ、創業者がロータリアンだったことを偶然にも知りました。写真をよく見ますと、創業者のスーツの社章の横にロータリーのバッジが付けられています。それを見てとても嬉しかったです。今まで5人の社長のお手伝いをしてきましたが、見方・考え方を間近で見ることができました。それぞれの社長の良いところを見て、広い目で全体の物事を見ることができるようになりました。

2012年のバンコクでの国際大会に向かって、学友会創設の準備会議が着々と進み、めでたくその翌年に大集合ができました。学友会設立後、7名の役員で運営をし、私は初代幹事として勤めました。その2年間は3ヶ月に1回の役員会の運営や議事録また報告書・原稿書きなどのお手伝いをしました。タイ学友の活動はまだ小さな活動ではありますが、地道な活動をしていきたいと思っています。

ちょうど本日は財団設立50周年記念事業として熊本にてイベントが開かれています。日本から羽ばたいた米山の奨学生が世界中から集まります。彼らはこんな素晴らしい日本国で育てられたのですから、良い子に育ったと信じてますし、私も育てられた一人としてロータリーの「人への思いやりの心、サービスの心、ボランティアの心、職業奉仕の心」を忘れずに頑張っています。これからも全ての出会い、ここでできた絆を一生大切に、頑張りたいと思います。今後も学友の活動を通して、温かく見守ってくださいませようお願い申し上げます。本日のお礼の言葉と致します。ご清聴どうもありがとうございました。

ブサコーンさんの講演全文は地区HPのトップページ、お知らせの8月31日にアップされています。ぜひご一読ください。<http://www.rid2790.jp/2017/index.html>

奉仕プロジェクト委員会セミナー報告



奉仕プロジェクト統括委員会
委員長 石井 弘 (松戸西RC)

奉仕プロジェクト委員会セミナーに御参加頂きました77RC、257名の会員の皆様、寺嶋ガバナーを初めとする地区役員の皆様、スリランカ国を代表されスリランカ国駐日大使ダンミカ・ガンガナート・ディサーナーヤカ閣下、サジー・ワニーさん、他奨学生の皆様に感謝申し上げます。

奉仕プロジェクト統括委員会は、第2790地区、83RCの奉仕活動が更に活発化し、活躍の場を広げて頂けるようにサポートして行くのが、委員会の使命であります。

今回のセミナーでは、サポートの一環として、各クラブの奉仕活動の参考になる様に3委員会が企画いたしました。

1) 国際奉仕委員会では、スリランカ国と日本国との関係、第2790地区のスリランカ国への支援状況が発表され、その支援に大変尽力されたサジー・ワニーさん(米山学友)に寺嶋ガバナーより感謝状が贈られました。また、スリランカ国駐日大使の講演から日本人としての再発見や、スリランカ国のこれからの展望、投資などのお話に参加者は大変興味を示しておりました。スリランカ大使は日本留学時代マスコミ論を専攻され「フーテンの寅さん」の監督助手を務めた経験を持ち、スリランカ国に「おしん」以来、日本映画として「フーテンの寅さん」の上映を実現されました。ただし言葉はシンハラ語に吹き替えだそうです。寅さんの心の優しさ純粋さがとても好きだというお話に大変暖かさを感じる講演でありました。この講演を通して国際奉仕を行う意味を再確認

する良い機会になったと思います。

2) 社会奉仕委員会では、船橋みなとRCによる「小学生マナー教室」の事例発表が行われました。今までのプロジェクターなどの一方的な発表でなく、マナー教室の先生と船橋みなとRCのメンバーが、小学校の先生、生徒となり、舞台上上がって、普段の行動から、良い事、悪い事を子供達に教える、見ていて大変楽しい事例発表でした。スリランカ大使が大変興味深くご覧になり、「ロータリークラブの方がスリランカにお越しただけのならば、ぜひ日本のマナーについて、スリランカの子供達に話をしたい。スリランカの子供たちに日本のマナーが身に着いた時、スリランカは更に素晴らしい国に成るでしょう。」と大変すばらしい評価を頂きました。

3) 職業奉仕委員会では、茂原RCに「出前教室」を発表して頂きました。自分の仕事の技術や経験、知識を地域の若者たちに伝える事で職業の大切さを学んで頂くこと、更には自分の会社のモチベーションの向上にも貢献し、またロータリーの広報活動にも貢献している。大変参考になる事例紹介でありました。尚、職業奉仕委員会は今年も卓話で各クラブを回らせて頂きたいと思っておりますので、各クラブの卓話申し込みをお待ち致しております。

本年度、奉仕プロジェクトのスローガンは「夢を語り、夢を実現させるために一歩踏み出そう、一歩踏み出すと、クラブに感動と活力が湧き、クラブに変化をもたらします!」です。ロータリーの夢を、各クラブの会員全員で語って頂き、その話の中から新たな一歩を踏み出すヒントや、思わぬ発見を得る事が出来るはずです。それがクラブに新しい変化をもたらし、良い循環を生み、また更にクラブの発展に繋がるものと思います。

主役はあくまでも各クラブの皆様です。今回のセミナーが各クラブの奉仕活動の更なる発展へのキッカケに成れば幸いです。ありがとうございました。



奉仕プロジェクト 石井統括委員長 発表と会場内の様子



米山学友 ザジー・ワニー氏 奉仕活動への感謝状授与



職業奉仕委員会
委員長 中村 俊人 (柏東RC)

奉仕プロジェクトセミナーに多くのロータリアンの皆様ご出席頂きまして誠に有難うございました。セミナーも私達の職業奉仕委員会が最終報告となりましたが、今回のセミナーには、スリランカ国駐日大使と学友のザジー・ワニーさんに参加頂きまして、とても素晴らしいセミナーになりました。

職業奉仕については、ロータリアンの皆様がいろいろな考えをされているかと察しています。

ロータリー会員となられた年数にもよりますが、30年・40年の諸先輩の方々と20年台又は10年未満の皆様がそれぞれ、クラブに入会されてから、いかに伝達をされているかによって様々ではないかと思えます。

職業奉仕の考え方も時と共に変わりつつありますが、職業

奉仕は皆様にご紹介されましたように社会奉仕や国際奉仕とは違っていて、何かをした結果を求められるものではなくて、日頃ご自身の職業に携わっている中での積み重ねであり、会員各自がその職業に関係するすべての人々立場に立ち、高い倫理観との高潔性を持って職業活動を行うことかと思えます。

そこから生まれる、地域の皆様への安心感を与え、ご自身がおの方々から信用と信頼を得られるかと考えています。ロータリアンの皆様が、奉仕の精神を持って社会生活の中で地域にどれだけ繋がる奉仕が出来るか、また、ロータリアン個人の活動もわかりですが、地域への職業の大切さや、またロータリアンが携わっている職業をもっと知って頂く活動をしていく事も大切な事であり、若者にその伝達していく事も大切な活動と考えています。

私達2790地区内でも、その若者への職業の伝達活動がされているクラブがあります。今年も昨年同様若者への職業伝達の活動をされている茂原RCさんに日頃の活動発表して頂きました。また、私達職業奉仕委員会は昨年と同様に各クラブに卓話訪問をさせて頂きたいと考えています。



社会奉仕委員会
委員長 向後 勝弘 (千葉RC)

今年度の奉仕プロジェクト委員会セミナーは、8月5日三井ガーデンホテル千葉で開催されました。当日は77のクラブから257名の参加者と、地区役員はじめ総勢300名が参加しました。冒頭、石井統括委員長から、「千葉県に世界大会を誘致しましょう。」という壮大な夢が語られ、その後は国際奉仕委員会、社会奉仕委員会、職業奉仕委員課の発表がありました。

今年の日玉は国際奉仕委員会が担当した、スリランカ国駐日大使の講演でした。きっかけは、米山奨学生であった、スリランカ出身のサジー・ワニーさんです。彼女は千葉大学を卒業後も日本に残り、スリランカと日本の架け橋になって、様々

なボランティア活動を積極的に行っています。それが縁で、大使もロータリークラブの皆さんにお礼がしたいということでこの講演となりました。大使にはロータリアンとの記念撮影もお願いしましたが、その希望者は100名を超える人気でした。

社会奉仕委員会は船橋みなとRCの「小学生マナー教室」の事例発表を、実際に行っている寸劇を通して皆さんに体験してもらいました。大使も、日本人のマナーの良さに大変感心されており、最後まで興味深く見ておられました。

職業奉仕委員会は茂原RCの「出前教室に取り組んで」という事例発表を行いました。

大変盛況に行われたことに対し、当日参加していただいた方々に、この場をお借りして、御礼申し上げます。



船橋みなとRC活動発表



国際奉仕委員会
委員長 鈴木 荘一 (君津RC)

国際奉仕委員会のパートでは最初に米山学友のサジー・ワニーさんへの感謝状贈呈とお礼のスピーチをして頂きました。スピーチに「感動した!!」とわざわざセミナー終了後伝えに来た方が多くいらっしゃいました。続いて地区ロータリー財団グローバルプロジェクト委員会の時田清次委員長からグローバル

補助金についての具体事例を挙げながら詳しいお話をさせて頂きました。次にスリランカ国駐日大使をお招きし基調講演をして頂きました。スリランカの事情と気さくな大使の人格が皆様に伝わったと思います。三者三様の立場から当委員会の遂行する国際理解・親善・平和について、参加された方々へ、何かしらのヒントにつながったと思います。最後に国際奉仕を気楽に語り合える機会・手段を設けられればご提案させて頂きました。地区会員皆様からのご提案をお待ちしております。本セミナーをきっかけに石井統括委員長のもと委員一同「一年間やるぞ!!」とモチベーションの高まった時間となりました。今年一年どうぞよろしくお祈りします。

文庫通信 (360号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

- ◎「職業奉仕とロータリーの魅力」大迫三郎 D.2730 2016 30p
- ◎「ロータリーの根幹は『ロータリーの目的』が規定する職業奉仕である」D.2760 2017 90p
- ◎「ロータリーって何だろうークラブ奉仕を中心に」松山R.C. 2012 73p
- ◎「新会員推薦の手引き」大阪R.C. 2013 9・23p
- ◎「ロータリーのしおり」明石西R.C. 2014 22p
- ◎「シェルドンなきロータリー」田中 毅 源流の会 2017 6p (シェルドンの森を巡る旅)
- ◎「ロータリーの正義(Ⅲ)」田渕水作夫 2017 55p

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ」ロータリー米山記念奨学会 2017 127p
[申込先：ロータリー米山記念奨学会 TEL (03) 3434-8681]
- ◎「ロータリー情報ハンドブック (改訂第2版)」ロータリー情報研究会 2017 821p
[申込先：ロータリー情報研究会 FAX (050) 3730-5737]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館：午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま210号)

今月のトピックス

- ・学友・ロータリアンが大集合！ -感謝 in 熊本-
- ・米山学友がGETSで感謝のスピーチ
- ・寄付金速報 -10月の米山月間に向けて-
- ・理事会・評議員会報告 -米山梅吉記念館で初開催-
- ・今年の米山月間資料は新作DVD付！

《今月のピックアップ記事》

学友・ロータリアンが大集合！ -感謝 in 熊本-

「世界米山学友による感謝in熊本」(主催：米山学友合同実行委員会)が8月26日、熊本市内ホテルで開催され、世界18の国・地域からの奨学生と学友196人、ロータリアン204人、その他家族などを含め総勢444人が参加しました。

このイベントは、学友によるロータリー米山記念奨学会財団設立50周年への祝賀に加え、今後、国内外の学友・学友会が横のつながりを持つためのプラットフォーム、「世界米山学友会」の発足を目的としたものです。

17時から第一部「世界米山学友会設立式典」が始まり、米山梅吉翁の生涯を描く朗読劇、全柄台さんから世界米山学友会の設立が宣言され、次回は2年後、モンゴルで開催することが発表されました。また、米山学友合同会から第2720地区ガバナー永田壮一氏へ熊本大地震の義援金100万円が贈呈されました。

第二部の懇親会では、タイや韓国、また学友会・ロータリアンのコラボレーションによる民族舞踊と合唱が次々に披露され、会場は大盛り上がりでした。

最後の参加者全員での「手に手つないで」は、会場いっぱいに広がっても足りないほどで、幾重にも折り返しながら、弾ける笑顔で手を握り、再会を誓い合って閉幕となりました。

※上記の記事は、一部省略しています。記事全文、および、そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight210_pdf.pdf

〈お知らせ〉

お待ちせいたしました！ 財団設立50周年を記念して、米山オリジナルデザインのネクタイ(3種 限定各500本)とスカーフ(1種 限定100枚)を制作しました。価格は1本(枚)あたり2,500円、ネクタイはポケットチーフ付です。当会HPの下記ページからWeb申込みをするか、用紙をダウンロードしてFAXしてください。入金確認後、発送いたします。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/50th#goods>

(送金先は、ご寄付を入金していただく口座と同じです。米山月間のご寄付と合わせて、記念誌やグッズの代金を送金していただけます)

叙勲・褒賞・表彰 (敬称略)

旭日小綬章



土井 正司
(多古RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



森島 庸吉
(船橋西RC)



大倉 崇
(市原中央RC)



田仲 正道
(市原中央RC)



石川 邦紘
(成田コスモポリタンRC)



崎山 征雄
(習志野中央RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチ・ポール・ハリス・フェロー



水野 晋治
(柏西RC)
8回目



金本 元章
(柏西RC)
8回目



石井 伸一
(鎌ヶ谷RC)
7回目



武田 勲
(市原中央RC)
5回目



皆川 隆
(鎌ヶ谷RC)
4回目



鈴木 幸平
(市原中央RC)
4回目



池田 兼雄
(市原中央RC)
4回目



長濱 芳一
(鎌ヶ谷RC)
3回目



江沢 一男
(千葉南RC)
3回目



谷川 安男
(市原中央RC)
3回目



新井善太郎
(市原中央RC)
3回目



小栗 次雄
(市原中央RC)
2回目



時田 清次
(市原中央RC)
2回目



片岡 孝治
(成田コスモポリタンRC)
2回目



木村 仁
(柏RC)
1回目・2回目



三代川文史朗
(習志野中央RC)
2回目



田口 ふく
(鎌ヶ谷RC)
1回目



根本 泉
(市原中央RC)
1回目

新ポール・ハリス・フェロー



杉 晟
(八千代RC)
1回目



藤田 賢吾
(市原中央RC)



田島 修
(市原中央RC)



毛利 寛行
(市原中央RC)



宮寺 仁
(市原中央RC)



畔高 弘樹
(柏RC)



井本 良三
(習志野中央RC)

新ベネファクター



畔高 弘樹
(柏RC)



鈴木 桂三
(柏西RC)
8回目

ポリオ・プラス



森島 庸吉
(船橋西RC)
58回目



崎山 征雄
(習志野中央RC)
27回目



竹尾 白
(千葉南RC)
10回目



青柳 誠
(成田空港南RC)
7回目



本村 政幸
(鎌ヶ谷RC)
6回目

米山功労者



布施 國雄
(習志野中央RC)
6回目



三代川文史朗
(習志野中央RC)
4回目・5回目



富 一美
(成田空港南RC)
3回目



前川 成吉
(成田空港南RC)
2回目



大本 國平
(柏RC)
1回目



中嶋 利生
(柏西RC)
1回目



ゲイビ アデル
(柏西RC)
1回目



花澤 剛
(習志野中央RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



永瀬 幸二
(浦安RC)
ホテル
6月30日入会



國府 昭義
(浦安RC)
ホテル
6月30日入会



田久保雅人
(習志野中央RC)
自動車販売
7月3日入会



鶴岡 健一
(習志野中央RC)
建設業・不動産業
7月3日入会



幡野 清己
(習志野中央RC)
薬品製造業
7月3日入会



花澤 剛
(習志野中央RC)
運送業
7月3日入会



石垣 雅義
(市原中央RC)
建築工事業
7月4日入会



西田 直人
(千葉RC)
鉄道輸送
7月24日入会



小森 康雄
(佐原RC)
不動産管理
8月3日入会



千年 正浩
(佐原RC)
生命保険
8月3日入会



河野 淳一
(市川シビックRC)
医療機器製造販売
8月7日入会



藤平 洋司
(君津RC)
自動車販売
8月7日入会



齋藤 和紀
(新千葉RC)
民事弁護士
8月9日入会



水嶋 和彦
(千葉南RC)
普通銀行
8月18日入会



坪谷 寿一
(千葉RC)
移动通信
8月21日入会



宮地 治彦
(新千葉RC)
商業銀行
8月23日入会



最首美枝子
(千葉RC)
司法書士
8月28日入会



佐藤 聖治
(船橋RC)
普通銀行
8月29日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 出席・会員数報告(2017年8月分)

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	90.63	2	40	1	40	1	0
	市川東	100.00	3	43	3	43	3	0
	市川南	83.72	3	19	2	20	2	1
	浦安	89.80	3	43	2	43	2	0
	市川シビック	78.73	3	32	0	33	0	1
	浦安ベイ	80.73	3	13	0	14	0	1
	平均	87.27	2.83	31.67	1.33	32.17	1.33	3
第2分区	船橋	90.75	4	29	0	31	0	2
	船橋西	85.87	3	42	7	43	7	1
	鎌ヶ谷	80.53	4	34	2	34	2	0
	船橋東	77.85	4	32	3	31	3	△1
	船橋南	92.59	4	13	1	14	1	1
	船橋みなと	87.01	4	20	4	20	4	0
	平均	85.77	3.83	28.33	2.83	28.83	2.83	3
第3分区A	千葉葉	92.75	3	80	3	84	4	4
	新千葉	80.49	4	51	0	52	0	1
	千葉西	92.55	4	45	3	47	3	2
	千葉中央	77.52	4	32	0	35	0	3
	千葉幕張	84.46	4	35	2	37	3	2
	千葉東	69.79	3	34	6	35	6	1
	千葉若潮	70.97	3	31	1	34	1	3
平均	81.22	3.57	44.00	2.14	46.29	2.43	16	
第3分区B	千葉南	69.24	3	47	7	48	6	1
	市原	63.07	2	40	3	40	3	0
	千葉港	84.85	3	24	3	24	3	0
	市原中央	85.09	4	50	1	51	1	1
	千葉北	78.45	4	29	3	29	3	0
	千葉緑	77.58	3	26	1	26	1	0
	平均	76.38	3.17	36.00	3.00	36.33	2.83	2
第4分区	木更津	80.13	4	27	2	29	4	2
	上総	64.16	3	15	0	16	0	1
	富津中央	81.15	4	29	1	32	1	3
	木更津東	86.25	4	46	1	47	2	1
	君津	95.01	3	54	4	57	4	3
	袖ヶ浦	87.18	3	25	4	26	4	1
	富津シティ	85.00	4	16	0	15	0	△1
平均	82.70	3.57	30.29	1.71	31.71	2.14	10	
第5分区	館山	84.72	4	49	3	50	3	1
	鴨川	82.02	4	31	4	31	4	0
	勝浦	90.10	4	36	4	38	4	2
	千倉	77.78	3	6	2	6	2	0
	鋸南	80.95	3	13	1	13	1	0
	館山ベイ	64.78	4	23	0	23	0	0
	平均	80.06	3.67	26.33	2.33	26.83	2.33	3
第6分区	茂原	87.60	4	62	0	64	0	2
	東金	83.78	3	14	1	15	1	1
	大原	88.93	3	9	1	11	1	2
	大多喜	78.12	4	6	1	8	1	2
	成田空港南	86.11	3	35	0	34	0	△1
	茂原東	88.92	4	21	1	21	1	0
	茂原中央	75.24	5	21	2	21	2	0
大網	79.03	4	31	1	31	1	0	
東金ビュー	67.50	2	20	1	20	1	0	
平均	81.69	3.56	24.33	0.89	25.00	0.89	6	

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	83.72	4	39	4	40	4	1
	旭	72.80	3	43	3	45	4	2
	八日市場	75.61	4	38	2	38	2	0
	銚子東	76.96	4	32	2	32	2	0
	平均	77.27	3.75	38.00	2.75	38.75	3.00	3
第8分区	佐原	78.00	3	49	0	51	0	2
	多古	85.42	4	15	0	15	0	0
	小見川	88.04	4	23	0	23	0	0
	佐原香取	84.85	3	25	1	25	1	0
平均	84.08	3.50	28.00	0.25	28.50	0.25	2	
第9分区	成田	77.14	2	69	4	72	4	3
	八街	91.55	4	30	3	31	3	1
	印西	79.15	4	20	1	20	1	0
	白井	56.25	3	15	0	16	0	1
	富里	84.73	4	30	0	30	0	0
成田コスモポリタン	81.55	4	69	0	69	0	0	
平均	78.40	3.50	38.83	1.33	39.67	1.33	5	
第10分区	柏	87.50	4	62	9	62	9	0
	我孫子	73.07	4	26	3	26	3	0
	柏西	86.98	3	62	3	64	3	2
	柏東	92.85	4	35	6	36	6	1
	柏南	81.00	3	33	5	35	6	2
平均	84.28	3.60	43.60	5.20	44.60	5.40	5	
第11分区	習志野	85.04	4	26	2	26	2	0
	八千代	88.00	3	51	0	51	0	0
	佐倉	70.69	4	28	3	29	3	1
	八千代中央	74.50	3	22	1	21	1	△1
	四街道	67.86	4	27	3	28	3	1
習志野中央	78.86	3	48	5	52	5	4	
佐倉中央	68.25	3	21	5	21	6	0	
平均	76.17	3.43	31.86	2.71	32.57	2.86	5	
第12分区	松戸	89.12	4	55	0	57	0	2
	松戸東	92.00	2	46	0	44	0	△2
	松戸北	77.02	4	39	0	39	0	0
	松戸中央	81.19	5	44	6	44	6	0
	松戸西	83.91	3	29	0	29	0	0
平均	84.65	3.60	42.60	1.20	42.60	1.20	0	
第13分区	野田	77.16	3	54	7	55	7	1
	流山	73.80	3	14	4	14	4	0
	野田東	71.43	3	22	0	22	0	0
	流山中央	85.00	3	22	2	23	2	1
	野田セントラル	81.52	4	25	1	25	1	0
平均	77.78	3.20	27.40	2.80	27.80	2.80	2	

クラブ数83RC		
2017年7月1日	地区会員数	2,761人
2017年8月末日	地区会員数	2,826人
2017年7月1日	地区女性会員数	177人
2017年8月末日	地区女性会員数	184人
当月平均出席率		82.13%
増減		+65
女性会員増減		+7

物故会員 (敬称略)



森川 一喜 (第6分区 茂原東RC)

逝去日: 2017年8月28日 (享年67歳)

入会日: 1996年4月1日

ロータリー歴: 2000-01 クラブ幹事
2007-08 クラブ会長
2012-13 クラブ幹事
2017-18 クラブ幹事

2016-17 第6分区ガバナー補佐幹事



織田 勉 (第12分区 松戸東RC)

逝去日: 2017年8月28日 (享年70歳)

入会日: 1989年9月1日

ロータリー歴: 2010-11 クラブ会長

第4回米山功労者
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

10月のロータリーレート

112円



在日スリランカ大使閣下基調講演 「スリランカの事情について」

スリランカ国駐日大使 ダンミカ・ガンガナート・ディサーナーヤカ

皆さんはスリランカを訪れたことがないと思いますが、ぜひ一度実際に訪れて、自分の目で確かめて欲しいと思います。今日の講演が、皆さんがスリランカを訪れる前の参考になればと思っています。

スリランカは、以前はセイロンでした。1948年にイギリスから独立し、1972年にスリランカ共和国に改称しました。スリランカでは、手を合わせて挨拶をする習慣がありますが、“長く生きてください”という思いを込めています。南アジアの国々（インド、パキスタン、バングラディシュ等）の中でも、他の国とは異なる文化などを持っています。首都はコロンボで、人口は約2,000万人、GDPは820億ドル、一人あたり収入は3,924ドルです。たくさんの宗教が入り混じる、多民族国家でもあります。

自分は、生まれも育ちも首都のコロンボで、父親は映画監督で、祖父母は比較的裕福でした。スリランカでは、英語が話せると生活しやすいと言われますが、それはかつてヨーロッパ各国の植民地であったことが、起因していると思っています。その影響で文化も様々と入り混じっています。なぜ、いろいろな国の植民地となってしまったのでしょうか？それは、世界地図を見れば一目瞭然であり、位置している場所が、アジアの東西の架け橋となる所だからでしょう。

内戦が終わって約30年になりますが、現在アジアのハブ機能として発展することを目指しています。東西にはシンガポールとドバイがあるので、それらの中間に位置するスリランカもニーズはあると思っています。スリランカといえば、紅茶（セイロンティー）が有名です。日本でも午後の紅茶は、原料がセイロンティーなので、皆さん、ぜひ帰りに自動販売機で購入してください。また、宝石もブルーサファイヤをはじめ有名であり、先日も大手町で展示会を開催

しました。

スリランカは、日本と同じで米食です。一日三食お米を食べます。三毛作で作っているのも、おそらく日本の5倍位消費しているからでしょう。インディカ米が主となっています。果物ではマンゴー（アルフォンソマンゴーが一番美味しい）、カシューナッツ等様々なものを作っています。料理では、香辛料とココナッツミルクで作るカレーが多いです。また、何にでも鰹節を使うのは、日本と似ているところです。

僧侶は、厳しい生活（結婚しない、子供をもたない、資産をもたない等）をしているので、国民から尊敬されています。教育水準もアジア地域では高い方であるし、医療については医療費が無料なこともあって、他の国に比べると健康な人が多いです。

自分は、マスコミ関係の勉強をするために、日本へ留学しましたが、最終的には映画の研究を東海大学の大学院で学びました。特に寅さんを研究しました。今では、スリランカで、毎週「男はつらいよシリーズ」が、テレビで放映されています。

3～4年先は、スリランカも日本のようになっていると思っています。その時に今もある心の豊かさを忘れずに成長していかなくてはならないと、考えています。最近は観光にも力をいれているので、スリランカの紹介ビデオをみていただきたいと思います。（※以降ビデオとスライド）

ビデオにもありましたが、日本の企業も近年、スリランカに進出し、成功しています。皆様も、実際その目でスリランカをご覧になって、その後、スリランカに投資するか、支援するか決めてください。時間も過ぎていきますので、本日はこれで話しを終わりにしたいと思います。ご静聴ありがとうございました。（講演録音より抜粋 文責 月信委員会）



10分区分大内ガバナー補佐より義援金の引き渡しの様子



スリランカの米山・財団奨学生との対面の様子



青少年交換委員会だより

今夏、高校野球千葉県大会で市川高校の4番打者として活躍した小菅真路君(18歳)は、ちょうど1年前にアメリカのユタ州から日本に帰ってきた。かつてロータリー青少年交換生として1年間アメリカに留学していた彼は、現地の高校のベースボールチームに入部し、徐々にプレーが認められ、とうとうレギュラーメンバーになった。すぐに多くの友達が出来て、たくさんの交流を図ることができた。ホストクラブやファミリーも試合の応援に来てくれた。帰国した彼は、日本の高校野球に復帰し「アメリカ仕込みの主砲」として母校を県ベスト32まで導いた。高校野球の短い夏が終わり、今彼は、大学受験のため猛勉強をしている。次は東京六大学野球に出場するため、そして将来はパイロットになるために。ロータリー青少年交換プログラム修了者(ROTEX)の一員となった彼は、将来は「ロータリアン」になることを宣言してくれている。



合同広報活動

管理運営統括委員会 委員長 高橋 潤一

千葉市の真夏の風物詩として市民に愛されている親子三代夏祭りに、今年は宮本ガバナー補佐の声がかりで第3分区Aの7クラブが初参加した。当日は揃いの半纏に身を包んだ各クラブからの精鋭70名を中心に、米山奨学生も加わり国際色も豊かに長谷川会員(新千葉RC所属)が所有する大神輿を担ぎ、大パフォーマンスが展開された。ポリオ撲滅や地域社会貢献を願うロータリーの紹介がアナウンスされ、沿道見物者から大きな拍手を頂いた。痛くなった肩を擦りながら、会員増強の一役となればと願う一日となった。



親子三代夏祭り

岸良 紅葉鸚鵡図

岸良(がん・りよう) 生没年…寛政十年(嘉永五年 西暦一七九八年)一八五二年)は、江戸時代後期の絵師で、人物画・花鳥画に優れたとされる。若くして岸駒(がんく)に学んだ。岸駒の長女・貞は岸成(がんせい)と結婚したが、岸成が早世したため後継に岸良を迎えた。有栖川宮家に仕え、雅楽助を名乗る。岸派二代目に当たる岸岱(がんだい)と共に、岸駒亡き後の岸派を支えた。岸派の虎図のみならず、南蘋派の濃密な写生画も得意とした。

